

2006 黒木町体育協会卓球部研修会

地方自治の原点を考える

— 公共心の共有をめざして —



黒木町体育協会卓球部長の堀川が、東京財団主催の2006年全国市町村職員国内外研修会に参加しました。このプログラムは、全国の市町村職員の公共経営学の必要性を謳い、早稲田大学公共経営研究科と米国オレゴン州ポートランド州立大学(PSU)において実施されたものです。

本研修会は、国内外研修で学んだ方法等を元に、体育協会卓球部の本質の改善と、地域振興策としての卓球を活用したまちづくりを推進するものです。

皆様のご参加をお待ちしております。

黒木町体育協会 卓球部長 堀川 州

TEL 45-0131

- 日 時 : 2006年10月16日(月)19時00分~21時00分(2時間)
- 場 所 : 黒木町開発センター (2 階) 視聴覚教室
- お申し込み : 当日直接会場にお越しください。

■ Panelist : 福岡県黒木町 堀川 州

卓球の町くろぎの創設

卓球を活用した地域振興策として

- 黒木のフジ、霊巖時の奇岩、黒木城跡、グリーンピア八女等の観光資源の活用を図っている。しかしながら、近年、農林産物や商店街の売上が減少し、観光客の年間入込数は、1998年には53万人が 2005年には31万人に減少している。
- 観光客の減少と収入の減で町の景気が停滞している
- 観光客の増加を図り、併せて住民の健康増進を進める戦略として、スポーツである「卓球」を活用したまちづくりを行う

